

## グリーンランド氷床モニタリング計画 (GLISN) のグローバル地震学における意義 Significances of GLISN project in Global Seismology

坪井 誠司<sup>1\*</sup>; 豊国 源知<sup>2</sup>; 金尾 政紀<sup>3</sup>; 東野 陽子<sup>1</sup>; 姫野 哲人<sup>4</sup>  
TSUBOI, Seiji<sup>1\*</sup>; TOYOKUNI, Genti<sup>2</sup>; KANAOKI, Masaki<sup>3</sup>; TONO, Yoko<sup>1</sup>; HIMENO, Tetsuto<sup>4</sup>

<sup>1</sup> 海洋研究開発機構, <sup>2</sup> 東北大学, <sup>3</sup> 極地研究所, <sup>4</sup> 成蹊大学  
<sup>1</sup>JAMSTEC, <sup>2</sup>Tohoku Univ., <sup>3</sup>NIPR, <sup>4</sup>Seikei Univ.

グリーンランド氷床全域の地震観測計画として、国際的な研究グループによる GLISN 計画が始まった。この計画では、国際的な研究グループの共同研究として氷床に地震観測点を設置し、他国の地震観測点と統合したデータセットを用いてグリーンランドにおける地震活動の解析を行う計画である。この研究計画の目的は、グリーンランド氷床及びその縁辺部で発生する氷河地震の頻度を観測し、氷床流動と氷河地震の関連から氷河地震の発生メカニズムを解明することにある。これにより地球温暖化による氷床後退と氷河地震発生との間の関連性を明らかにできる可能性がある。グリーンランド氷床の地震活動と発生過程から地球温暖化の影響を評価する研究計画は独創的であり、北極域の雪氷環境に及ぼす温暖化の影響について新しい視点をもたらす可能性がある。

キーワード: 氷河地震, グリーンランド, 広帯域地震観測  
Keywords: glacier earthquake, Greenland, broadband seismograph